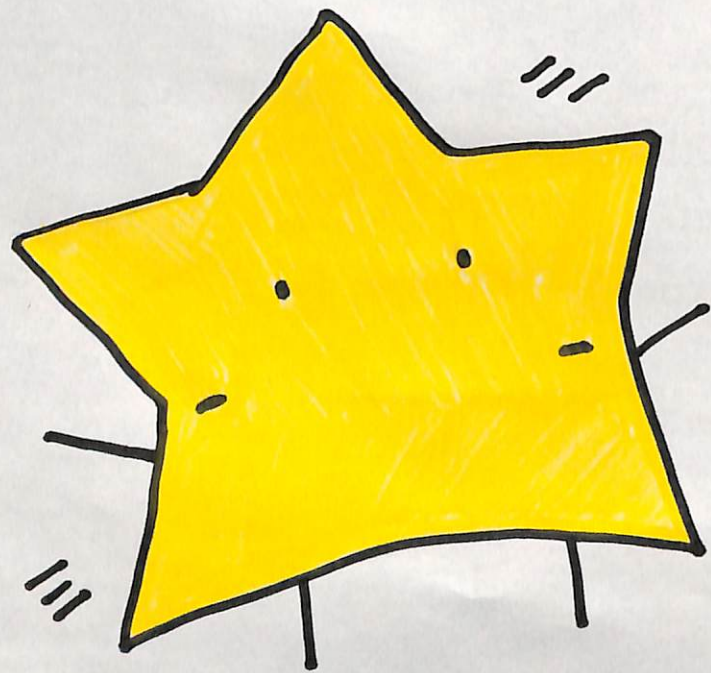
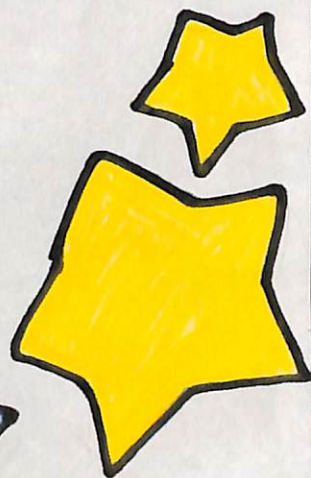


星年
の
天
空
海
軍
大
将
官



大
将
官
の
大
冒
険





「私の名前はりん」

「毎日同じ場所について、毎日同じ景色も見てるだけ」

「そんな毎日はもううんざり」

「そうだ！冒険に出よう」



まず初めに訪れたのはお月さまのところ。

「おつきさま、こんにちは」

「やあ、こんにちは」

「きみはここで何をしているんだい？」

「私は今旅をしているの。どこか次に行く

いい場所はないかしら？」

「こんなところはどうかしら？」

おつきさまは太陽さんのいる場所を教えてくださいました。



次に訪ねたのは太陽さんのところ。

「たいようさん、こんにちは」

「やあ、こんにちは」

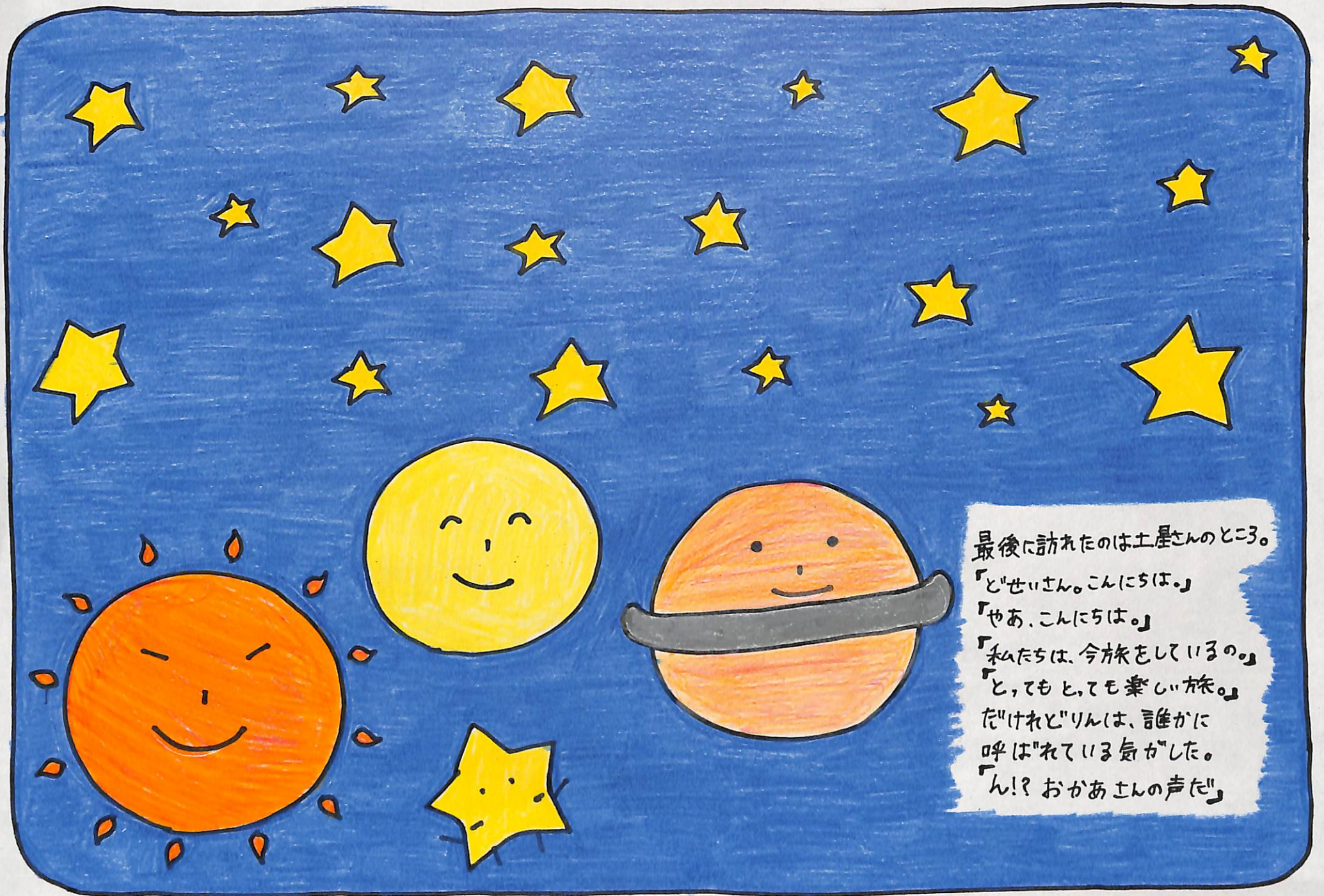
「やあ、たいようさんや、とあえたね」

「やあ、おきさまや、とあえたね」

「たいようさん、私たち今旅をしているの
どこか次に行くいい場所はないかしら？」

「こんなところはどうかしら？」

太陽さんは土屋さんのいる場所を
教えてくれた。



最後に訪れたのは土星さんのところ。
「とせいさん。こんにちば。」
「やあ。こんにちば。」
「私たちは、今方々をしているの。」
「とてもとても楽しい方々。」
た「けれど」りんは、誰かに
呼ば「れている気がした。」
「ん!? おかあさんの声だ!」



リンは目覚めた。
そう、たのしいたのしい旅は
夢だったのです。
リンはとてもざんねんに思いました。
そして、リンはもう一度夢を見ようと
また深い眠りにつきました。

おしまい☆≡